

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン キュマイラ		ワークス	暗殺者	カヴァー	探偵
	オプション		年齢	28	性別	男
覚醒	渴望	衝動	闘争	初期侵食率	33 %	
出自	複数の兄弟	経験	犯罪	邂逅	ビジネス相手	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	39
肉体	4	0	0	5		9	行動値	5
感覚	1	1	0			2	(非装備時)	5
精神	1	0	0			1	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉		
回避			知覚			意志	1		調達		
運転：二輪	2		芸術：			知識：忍術	2		情報：裏社会	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
『妖変化の術・鬼』		5r		9		マイナー⇒E3+E4
『一筋の銀』	白兵	16r+1		0		メジャー⇒E5+E6+E7+E8 自身に1D10ダメージ
『妖変化の術・鬼』100%↑		6r		10		
『一筋の銀』100%↑	白兵	18r+1				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
コネ:情報屋					
春日恭二の贈り物:錠剤					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	タス	消費
伝承者(Dロイス)	P	N			
葉戸 真生那(ハド マキナ)	P 親近感	N 憐憫			
火村 炎雷	P 執着	N 憎悪			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	4	残り財産P:	3		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
リミットリリース	1	6	オート	至近	自身	自動	100	
効果：	クリ値-lv(下限5) 判定直前 1シナリオ1回							
獣の魂	1	5	オート	至近	自身	自動	100	
効果：	肉体判定直前 D+5 1シーンlv回							
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	素手(攻撃+lv+8 ガード1 <白兵>)							
完全獣化	3	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	肉体判定D+lv+2 item不可 シーン持続							
コンセントレイト(ハヌ)	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：	クリ値-lv(下限7)							
音速攻撃	3	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：	D+lv							
電光石火	3	3	メジ/リア	-	-	-	-	
効果：	D+lv+1 MP終了時1d10ダメージ							
一閃	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：	全力移動後に白兵攻撃							
ライトスピード	1	5	マイナー	至近	自身	自動	100%	
効果：	メジャーを2回行う C値+1 1回/シナリオ							
浸透撃	3	2	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果：	ガード不可 lv回/シナリオ							
軽功	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：	壁でも水でも走れる							
無音の空間	★	-	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果：	気配を消す。<RC>判定可							
眠れる遺伝子	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：	動物の姿で日常を過ごす 見抜く場合<知覚>対決							

ヒムラ=ギンキ
暗殺を得意とする忍者でイリーガルとして活躍している。とある任務で拾った真生那という少年の保護者。しかし生活の面倒はむしろみてもらっている。自分の名前から連想できる月を眺めるのが趣味。心が落ち着くらしい。アパートの一室を余分に借りてそこに名ばかりの探偵事務所を開いている。殺伐とした生活を送ってきたからか苦労が顔に刻まれていて老けてみえる。本人はそのことを特別気にはしていない。

以下細かい設定
知る人ぞ知る忍者の名家火村家の四男坊として生まれる。上にいる三人の優秀な兄と比べられて育つ。しかし負けず嫌いの銀鬼は貪欲に力を欲し、吸い寄せられるように火村家の蔵の中で秘伝の巻物を見つける。巻物を読んだ銀鬼は体を駆り巡る力の奔流を感じオーヴァードに目覚め《鬼神の術》を身につける。力を手に入れた全能感と心を僅かに蝕み、苛立たせる人の理を外れた自覚に駆り立てられ家を飛び出した。そして銀鬼はそのまま裏社会へと踏み込み修羅の道を歩むことになる。年齢12の時のことである。

暗殺者として仕事をこなし徐々に裏社会で鬼忍の名が知れてきたころ、20歳になった時に実家火村家から「家を出たまま成人し火村家にその身を捧げぬお前を勘当する。」という連絡が来る。以来銀鬼は火村の名を捨て銀鬼とだけ名乗るようになる。

およそその一年後。FHからの依頼でUGN幹部の暗殺を行う。この時、UGN幹部の護衛部隊指揮官を務めていたのが霧谷雄吾(27)だった。霧谷雄吾は自分の守りを切り抜け要人殺害を完遂した銀鬼の実力を高く評価し、後日イリーガルとしてスカウトする。以来銀鬼は主にUGNからの依頼を受けるようになり、霧谷と友情を結ぶこととなる。またオーヴァードに関して霧谷から多くを教えられ自分の力を深く見つめ直してその使い方を考えるようになる。